

東京外語大生が支援

子どもたち一緒
Xマスを楽しむ

東京外語大の学生有志らで組織する「外大東北復興支援隊」(隊長・吉村健吾さん)が先日、石巻市中屋敷地区コミュニティスペースでクリスマスパーティーを開いた。子どもたち約20人とツリーの飾り付けやクリスマスカード作りなどに取り組んだ。

仙台市出身の鈴木和さん(フランス語学科3年)、いわき市出身の吉村隊長(外国語学部ポルトガル語学科3年)をはじめドイツ人の留学生ら7人が参加。クリスマスカード作り

では吉村さんの「お父さんやお母さんに感謝の言葉を贈りましょう」という合図で、子どもたちが思い思いの言葉をフェルトペンで走らせた。

妹と一緒に訪れた釜小5年の高橋実夏さん(11)は「みんなと一緒にクリスマスはとても楽しい」とにっこり。昼食では、たこ焼き、ごぼうめし、豚汁、ケーキなどを味わい、笑い声が絶えなかった。

外大東北復興支援隊は3〜6人でチームを編成。5月初旬から小中学

生を対象に学習支援をしのケアにも貢献。子どもているほか、話し相手やたちや保護者から感謝の遊び相手になるなど、心言葉が寄せられている。



東京外大生と一緒にクリスマスカードを作る子どもたち―石巻市中屋敷